

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月5日

上場会社名 山洋工業株式会社
 コード番号 8109 URL <http://www.sanyokogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 伸士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 志村 七郎
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3464-8901

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	7,576	12.6	108		137	483.0	78	
20年3月期第3四半期	8,668		17		23		6	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	15.07	
20年3月期第3四半期	1.30	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	7,420	1,266	1,266	1,266	17.1	242.27
20年3月期	7,638	1,784	1,784	1,784	23.4	341.20

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,266百万円 20年3月期 1,784百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		0.00		5.00	5.00
21年3月期		0.00			
21年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	1.1	60	11.7	80	28.6	135		25.82

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注] 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

[注] 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	5,232,000株	20年3月期	5,232,000株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	3,530株	20年3月期	3,309株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	5,228,530株	20年3月期第3四半期	5,229,639株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

また、本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した景気の低迷、マーケットの混乱を背景に、各国が協調利下げを相次いで実施するなど景気後退局面が長期化しております。また、景気けん引役であった輸出も、欧米向けに加え新興国・資源国向けも増勢が鈍化する一方、円高の影響も徐々に顕在化しており、先行き不透明感が増しております。これらを受け、家計部門も所得環境の低迷、生活必需品価格の高止まりにより、個人消費は低水準で推移するなど足元の景気は急速に悪化しています。

このような状況のなか、当社においては、受注高は9,728百万円、売上高は7,576百万円となりました。損益面では営業利益は108百万円、経常利益は137百万円となりました。

事業別セグメントの状況は次のとおりです。

販売部門における制御機器および電気材料部門では、受注高は2,942百万円、売上高は3,127百万円となりました。産業用電気機器部門では受注高は4,851百万円、売上高は2,939百万円となりました。工事部門においては、受注高は1,934百万円、売上高は1,509百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

総資産は7,420百万円となり、前期末に比べ217百万円減少しました。これは主に投資有価証券が減少したことによるものです。

負債合計は6,154百万円となり、前期末に比べ299百万円増加しました。これは主に買掛金および短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は1,266百万円となり、前期に比べ517百万円減少しました。これは主に有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等により145百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社の清算による収入等により60百万円の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入の増加により13百万円の増加となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ71百万円減少の852百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成20年10月30日付、「当社業績予想の修正に関するお知らせ」に発表いたしました業績予想通りであります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法(収益性低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(3) その他、経営上の重要な事項

株式交換及び上場廃止について

株式交換及び上場廃止については、平成20年12月26日に発表いたしました「山洋電気株式会社による山洋工業株式会社の株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」の通り、平成21年4月15日開催予定の臨時株主総会において山洋電気株式会社との株式交換契約が承認されますと、同年6月25日をもって上場廃止となり同年7月1日をもって山洋電気株式会社の完全子会社となります。

詳細につきましては、次のURLの当該発表資料をご覧ください。

(当社サイト)

http://www.sanyokogyo.co.jp/corporate/pdf21_osirase_3.pdf

(ジャスダック証券取引所サイト)

<http://jds.jasdaq.co.jp/documents/tekiji/8IKMSJ6KOR1A4CAA.PDF>

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	852,066	923,292
受取手形及び売掛金	4,076,278	3,909,189
有価証券	85,341	127,518
商品	327,395	317,528
未成工事支出金	443,906	95,616
繰延税金資産	127,411	51,580
その他	25,911	30,566
貸倒引当金	11,917	10,846
流動資産合計	5,926,395	5,444,445
固定資産		
有形固定資産	152,426	161,847
無形固定資産	30,938	41,363
投資その他の資産		
投資有価証券	881,222	1,615,621
繰延税金資産	249,937	196,802
その他	192,509	190,988
貸倒引当金	12,679	12,497
投資その他の資産合計	1,310,989	1,990,914
固定資産合計	1,494,355	2,194,125
資産合計	7,420,750	7,638,571
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,774,354	3,523,051
短期借入金	1,520,000	950,000
未払法人税等	25,252	39,146
賞与引当金	74,511	108,081
その他	81,828	494,208
流動負債合計	5,475,947	5,114,490
固定負債		
長期借入金	50,000	160,000
退職給付引当金	432,976	384,950
その他	195,100	195,100
固定負債合計	678,076	740,050
負債合計	6,154,024	5,854,541

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	276,000	276,000
資本剰余金	73,200	73,200
利益剰余金	1,036,997	1,141,931
自己株式	546	519
株主資本合計	1,385,651	1,490,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,924	293,417
評価・換算差額等合計	118,924	293,417
純資産合計	1,266,726	1,784,029
負債純資産合計	7,420,750	7,638,571

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	7,576,453
売上原価	6,612,396
売上総利益	964,056
販売費及び一般管理費	855,880
営業利益	108,176
営業外収益	
受取利息	8,305
受取配当金	30,315
その他	14,068
営業外収益合計	52,690
営業外費用	
支払利息	18,616
その他	4,692
営業外費用合計	23,308
経常利益	137,557
特別利益	
固定資産売却益	2
関係会社清算益	77,322
特別利益合計	77,324
特別損失	
固定資産除却損	92
投資有価証券評価損	153,201
特別損失合計	153,293
税引前四半期純利益	61,588
法人税、住民税及び事業税	50,883
法人税等調整額	89,495
法人税等合計	140,378
四半期純損失()	78,790

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	2,807,945
売上原価	2,446,334
売上総利益	361,611
販売費及び一般管理費	295,997
営業利益	65,614
営業外収益	
受取利息	2,605
受取配当金	13,527
その他	2,971
営業外収益合計	19,104
営業外費用	
支払利息	6,108
その他	409
営業外費用合計	6,518
経常利益	78,199
特別損失	
固定資産除却損	9
投資有価証券評価損	30,975
特別損失合計	30,984
税引前四半期純利益	47,215
法人税、住民税及び事業税	31,778
法人税等調整額	3,885
法人税等合計	27,893
四半期純利益	19,321

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	61,588
投資有価証券評価損益(は益)	153,201
固定資産除却損	92
関係会社清算損益(は益)	77,322
減価償却費	26,828
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,253
退職給付引当金の増減額(は減少)	48,026
賞与引当金の増減額(は減少)	33,570
受取利息及び受取配当金	38,621
支払利息	18,616
売上債権の増減額(は増加)	167,771
たな卸資産の増減額(は増加)	358,157
仕入債務の増減額(は減少)	251,301
その他	12,722
小計	101,811
利息及び配当金の受取額	38,925
利息の支払額	18,104
法人税等の支払額	64,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	2,895
無形固定資産の取得による支出	4,385
投資有価証券の取得による支出	7,729
関係会社の清算による収入	75,792
貸付金の回収による収入	200
その他	268
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,500,000
短期借入金の返済による支出	2,150,000
長期借入金の返済による支出	310,000
自己株式の取得による支出	27
配当金の支払額	26,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,829
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	71,225
現金及び現金同等物の期首残高	923,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	852,066

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

前四半期に係る財務諸表等
 (要約)四半期損益計算書

	前四半期 (平成20年3月期第3四半期)
	千円
売上高	8,668,488
売上原価	7,852,599
売上総利益	815,889
販売費及び一般管理費	833,747
営業損失()	17,857
営業外収益	
受取利息	19,877
受取配当金	31,701
その他	9,935
営業外収益計	61,515
営業外費用	
支払利息	17,083
その他	2,977
営業外費用計	20,060
経常利益	23,596
特別利益	121
特別損失	1,732
税金前四半期純利益	21,984
法人税、住民税及び事業税	15,194
四半期純利益	6,790